

啄木のふるさと『もりおかの短歌』

平成21年 秋の部 優秀賞発表

秋の部優秀賞十首

『啄木のふるさと』『もりおかの短歌』は、啄木が生まれ育った盛岡を訪れる観光客や市民による啄木短歌の特徴である『三行書き』の短歌づくりを通して『短歌のまち もりおか』を推進することを目的に昨年度より実施している事業です。

年間を四つの期間（夏の部・秋の部・冬の部・春の部）に分け募集。

9月から11月まで募集した秋の部にも、これまでと同様、観光客や市民の方々から多くの短歌が投稿され、この度優秀賞10首が選定されました。投稿箱は、当所や盛岡市役所、啄木関連の観光施設、市内ホテルなどに設置しており、現在は冬の部を募集しておりますので、啄木になった気分で行書きの短歌に一度挑戦してみたいいかがですか。

こずかたの城跡の池
不來方の城跡の池
秋深く水面の紅葉
めらめらと燃ゆ

岩手県盛岡市 鈴木 充

びよんぴよん舎
小岩井農場アーチエリー
娘の好きな盛岡の街

千葉県市川市 鈴木 桂子

啄木の里走り抜け
十五の心思い出しけり

埼玉県上尾市 中久保 齊

「おい節子今帰ったぞ」と
啄木が玄関に入る
新婚の家

岩手県八幡平市 及川 稜

姫神は
入り日に紅葉照り映えて
雪降る前の華やぎを見す

宮城県仙台市 沼沢 修

洪民へ会いに来ました啄木に
姫神山見ゆ
岩手山見ゆ

北海道石狩市 原田 章子

イーハトーヴの町訪えば銀世界
雪踏みしめて
キュッキュツと鳴かす

奈良県奈良市 梅本 幸子

盛岡の
北上川の岸辺にて
道を問はれぬ我も旅人

長野県伊那市 中村 正和

おちこちに
賢治の声のするような
材木町をゆるりと巡る

千葉県我孫子市 谷 素子

ふるさとには
いつも鮮らしありがたし
岩手嶺に付き太く息はく

青森県八戸市 田村 三之助

平成二十一年秋の部
投稿数 二百五十首

選者 八重嶋 勲氏